

少子化が進み、世帯収入も減少している 昨今、一部のチームを除き、選手の獲得が非常に難しくなりつつあります。

※『日本の子供の数に関する統計データ』によると、**14歳以下の人口は前年同期比 -18万人です。(2019年データ)**

※中学年代のサッカー人口も、**268,518人(2014年) ⇒ 229,537人(2019年)と5年間で39,000人も減少しています。**

ジュニアユースナビの運営を通じて見えてきたのは保護者の方々のシビアな目と判断です。
情報化社会の中で「存在」を認めてもらうためには情報発信がとても大切です。

その際、チームの顔となるホームページが、

- ・**戦績が古いまま**
- ・**進学実績が古いまま**
- ・**既に退職されている指導者情報が掲載されたまま**
- ・**デザインそのものが時代遅れ**
- ・**スマホ最適化されていない**

そのようでは躊躇されてしまいます。

インターネットが普及している現代では、インターネット内のチーム評価はリアルなチーム評価に直結し、チームを探している子供・保護者は、現実のチームに出会う前に、まずはチーム HPIに出会います。

その為、安定したチームを運営するためには **インターネット対策** は欠かせません。

子供たちが **迷わない世界** を実現

サッカーを愛する人の役に立ち、
日本のサッカー界に貢献するプレイヤーが誕生することを願って止みません。

